



初秋の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今月の診療科別予定表を同封いたしますのでご参照ください。
今後とも、患者さまのご紹介をよろしくお願いいたします。



1. 外科・消化器外科よりごあいさつ



副院長 / 外科・消化器外科 部長

ふきあげ おさむ
吹上 理

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当科の人員は、嶋本 哲也副部長、津村 亜矢子医長の常勤3人に加え、奥野 清隆腫瘍外科センター長の御指導を仰ぎ、手術日には和歌山県立医科大学第2外科から週3回それぞれ異なる分野のエキスパートと共に手術を行っています。手術症例は増加し、消化器外科を中心に昨年は296例（全身麻酔216例）を行いました。本年もコロナ禍にも関わらずここまで昨年を上回るペースで手術を行っています。不要・不急の手術は先送りとの話が出ておりましたが、本来「不要」の手術はありません。また当院は地方の第一線病院であり、症状が重く、逼迫した状態で来られ、大腸癌、胃癌では消化管閉塞や高度貧血の方が、胆石症、急性虫垂炎などの炎症性疾患では炎症を反復している方や膿瘍形成など「急を要する」方がほとんどです。症状の軽い鼠径ヘルニアや無症候性胆石などを除いて、できるだけ早く手術を行っています。これにつきましては、当院にご紹介いただきます地域の先生方のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

今後も第一線病院として地域医療に邁進して参りますので、御指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



津村医長

吹上副院長

奥野センター長
(腫瘍外科センター)

嶋本副部長

西6病棟スタッフと先生達！

術前術後のケアも
抜群のコミュニケーションで
行っていますよ！



2. 西6病棟のご紹介

西6病棟は主に、消化器外科、歯科口腔外科、脳神経外科の手術や化学療法を受けられる方、心臓カテーテル検査を受けられる方が入院される病棟です。

消化器外科はほぼ鏡視下手術で、患者さまは疼痛や合併症も少なく早期に退院されています。人工肛門を造設される方も多く、研修を受けた看護師を中心にケアを実践し、訪問看護やストマ外来とも連携しています。

脳神経外科は慢性硬膜下血腫の方や脳梗塞の方が多く、歯科口腔外科では、舌や顎骨疾患の手術や化学療法、抜歯の患者さまが多いです。どちらも疼痛コントロールをしながら、患者さまのQOLの維持・向上を目指した看護を実践しています。

今年の7月から心臓カテーテル検査を開始し、10月からは治療も始まります。さまざまな診療科の方が入院されますが、医師・看護師・多職種そして病棟と外来で協力し合い、安全で安心できる医療・看護の提供を目指しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



週1回の外科カンファレンスの様子。
多職種が集まり、患者さまの情報を共有。
各専門職目線からのケアを実践しています！



西6病棟 科長 / 看護部 副部長

やました ゆき
山下 有紀

3. MRI問診票の改訂について

この度、MRI検査問診票を変更させていただくことになりました。

「MRI問診票」から「MRI検査問診票・同意書」に変更となり、体内金属等の詳細記入欄、および患者さまのご署名が必要となります。また、質問項目に関しましてもより詳細にお答えいただく様式へと変更させていただきます。

新様式については、当院ホームページよりダウンロードが可能となっております。

先生方におかれましては、お忙しい中大変お手数をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

(直通) TEL 471-3020 FAX 471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります